

国立大学共同利用・共同研究拠点協議会「知の拠点セミナー」を開催

2015年3月20日

3月20日(金)に京都大学東京オフィス(東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階)において、がん進展制御研究所腫瘍動態制御研究分野の松本邦夫教授が、「がんの治療: 創薬」と題して、「第42回知の拠点セミナー」を開催しました。

このセミナーは、国立大学共同利用・共同研究拠点協議会が、拠点となっている研究所・研究センターの活動や各学問分野の研究動向を、広く一般のみなさんや学生のみなさんにお伝えするため「知の拠点セミナー」としてシリーズで開催しているものです。

松本教授は、セミナーに参加された一般の方々に理解しやすいように、創薬の歴史からがん治療における分子標的薬の創薬の最新状況までをわかりやすく解説しました。

セミナーには、一般の方や企業関係者、学生等78名が参加しました。みさんは松本教授の講演を熱心に聞かれ、質疑応答では予定時間を越えて、たくさんの質問が投げかけられました(なお、セミナーの内容が紹介されています:<http://www.yomiuri.co.jp/science/feature/CO005189/20150421-OYT8T50162.html>)。今回のセミナーは、共同利用・共同研究拠点としての活動の一端を社会に認知していただくよい機会となりました。





